

## 「人間力」について

『耕人塾』の趣旨は、「石巻地域の中・高校生の『人間力』を磨き、地域や社会に貢献する人材を育成し、併せて大学生や市民を巻き込んだ学びの場とする」です。今回は「人間力」について、『耕人塾』でどうとらえ、塾生の皆さんに何を期待しているのかを述べたいと思います。

『耕人塾』では、「人間力の要素を「知・徳・体」の総合的な力と捉え、「徳を養い・心体を鍛え・知を高める」としています。「徳を養う」とは、自主・自律の精神や他の人と協調しながら目的を達成しようとする力、思いやりや優しさ、奉仕の心や実践力を養うことです。「心体を鍛える」とは、心と体は一体であり、生きていく上でどちらも大切です。「心」の面では明るさや素直さ、物事に取り組む意欲や忍耐力、「体」の面では健康や体力、体の柔軟性や運動能力が含まれます。心も体も鍛えることが大切です。「知を高める」とは、知識・理解はもとより、課題発見力や問題解決力、論理的思考力や想像力を高めることです。

この「徳・体・知」の三つの要素をバランスよく向上させることが「人間力」を磨くことにつながります。これらのことを踏まえて、『耕人塾』の塾生として1年間どのような気持ちで参加してほしいかを3点述べます。

① 塾生の皆さんは多くの選択肢の中から『耕人塾』での学びを選んだ訳ですが、この出会いを大切にしてほしいということです。相田みつをさんの詩に「**その時の出逢いが 人生を根底から変えることがある 良き出逢いを**」があります。『耕人塾』での出会いを素晴らしいものにするために多くの方からたくさんを学び、自分という人間を深く耕してほしいと思います。

② 自分の「人間力」を磨くために新たなものに挑戦してほしいということです。挑戦するためには自分がどんな人間になりたいのかという志を立て、強い決意と勇気を持って実践してほしいのです。時には失敗することもあるかもしれませんが、それはすべて新たな自分になるための学びです。声優の南條愛乃(はな)さんは「**つらいことや悲しいことがあっても、苦悶や悲痛の演技をするときに生かせる。だから、人生に無駄はなくなった**」と言っています。

③ どんなに良いことでも与えられたことを仕方なくやっているのでは長続きしません。せっかく『耕人塾』に参加するのでから楽しんで活動することが大切です。「**楽しさとは与えられるものではなく、自らつくり出すもの**」です。自分が楽しいだけでなく、回りをも楽しかせたら素晴らしいですね。ワクワクドキドキした活動になるよう工夫してみてください。

『耕人塾』での出会いがかけがえのないものになり、「人間力」を磨くことを通じて新たな自分をつくるきっかけになったら素晴らしいですね。この1年間楽しんで活動していきましょう。

## 「絶対不変の四つの真理」(開塾式での塾長挨拶から)

第9期『耕人塾』の開塾式に「絶対不変四つの真理」ということを話しました。四つの真理とは、①人間は必ず死ぬ(人生は有限である)、②人生はやり直しがきかない(人生は一度きりである)、③自分の人生は自分しか歩むことができない(他人と代わることはできない)、④私という人間はこの世で一人しかいない(世界人口80億の中で私という人間は一人、過去にも未来にも)ということです。そう考えると本当にかけがえのない人生なのだと思われまふ。だからこそ自分を大切に、他の人をも大切にする生き方をしなければならないのだらうと思います。自分を大切にすることは、自分の持っている力(潜在的なものも含めて)を発揮する努力をすることです。そのためには失敗を恐れずに挑戦してみるのだと思います。他人を大切にすることは、自分の人生がかけがえのないものと同じように、他の人の人生もかけがえのないものだからです。自分はどうか生きればいいのか『耕人塾』で深く学んでいきましょう。